



日本の
ひなた
宮崎県



移動展示会

門川会場

ふるさと
の遺跡

再
発見

発掘成果地域還元事業

令和4年 7月30日(土)
~ 8月28日(日)

共 主 休 観 会
催 催 館 覧 場
日 日 時 間

門川町役場町民ギャラリー
午前9時~午後5時
会期中無休
宮崎県埋蔵文化財センター
門川町
門川町教育委員会

縄文土器 深鉢 [縄文晩期]
分蔵遺跡 (門川町)

口の部分が、直立ぎみで沈線がみられるなど、中九州の天城I式土器の特徴を持つ縄文時代晩期の深鉢です。胴部に明瞭な屈曲が見られ、外面は丁寧に磨かれていたと考えられます。また、内側は貝殻でつけられた筋が見られます。

門川町内の遺跡と出土遺物



かど がわ みなみ まち 門川南町遺跡

1992～94年発掘調査

門川南町遺跡は、門川湾から、約250mほど内陸に入った市街地にある遺跡です。国道10号線の幅を広げる工事に伴い、発掘調査が行われました。調査範囲が狭く、砂地であったため、発見された遺構は、縄文時代の2本柱の竪穴住居跡1軒と中世の土坑1基だけです。

遺物は、縄文時代後期から晩期の土器片や石錘、磨製石斧などが約500点あまり出土しています。特に、石錘は出土遺物の半分以上を占め、海に近い遺跡の特徴を示しています。



庵川窯跡は、門川町と延岡市の境界にある遠見半島の南西部に位置します。窯跡は1944年に、郷土史家の石川恒太郎氏によって発見され、その後、1972年に発掘調査が行われました。

調査の結果、窯は登窯で焼成室は4室確認されましたが、開発により窯跡の後ろの部分が壊されており、正確な規模は不明です。焼成室からは多くの陶器や磁器、陶胎染付、窯道具が出土しています。

当初、本窯は中世末期に朝鮮より渡来したシンニョム、カンニョムの両氏が開いたシンニョム焼の窯と考えられていましたが、現在は出土品などから、それより新しい近世の窯跡ということがわかっています。

いおり がわ かま あと 庵川窯跡

1972年発掘調査

ぶん ぞう 分蔵遺跡

2005年発掘調査

分蔵遺跡は、五十鈴川の下流右岸の標高約8mの沖積地に位置し、東九州自動車道(門川～日向間)の建設工事に伴って発掘調査が行われ、縄文時代後期から晩期にかけての遺物が出土しました。特に縄文後期から晩期の天城Ⅰ式土器は、この地と現在の熊本県など中九州地域との交流をうかがわせるものとなっています。他にも縄文晩期の黒川式土器、突帯文土器、石器が出土しています。

また、地層の堆積状況から、度重なる洪水によって流路をかえる五十鈴川下流域の氾濫原の様相を知ることができます。

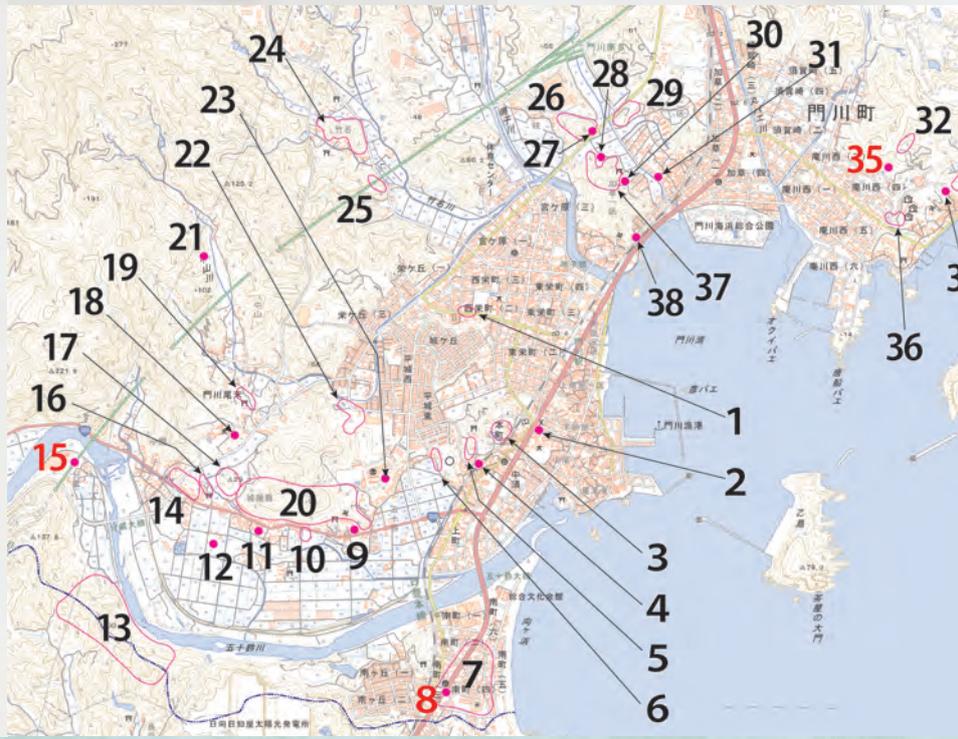


門川町は宮崎県の北部に位置し、町内の約84%は山岳地です。町は三方を山々に囲まれ、河川が山地から地形に沿って門川湾に向かって流れています。

町内の遺跡は、約50カ所確認されており(2022年時点)、特に河川周辺の低地と平野、河川に突き出した丘陵の先端に集中しています。

旧石器時代の遺跡は、「門川町史」に三ヶ瀬の城ノ塚の南麓で石器を発見した、という記述はありますが、発掘調査は行われておらず、詳細はわかっていません。縄文時代の遺跡は、縄文時代後期(約4000年前)～晩期(約2800年前)を中心とし、五十鈴川の南岸に位置する分蔵遺跡や古川・原山の一带にある南町遺跡からは縄文土器や石器、竪穴住居跡などが確認されました。弥生時代の遺跡は、鳴子川上流域に位置する中村遺跡から弥生時代後期(約3000年前)の土器が出土しています。古墳時代の遺跡は、県指定史跡である門川町古墳や石棺が確認された中山古墳・笠原遺跡などがあります。古代以降は、加草の丘陵地帯に位置する江田城や城屋敷地区の門川城などの山城跡、町指定史跡である庵川窯跡があります。

参考文献:『門川町史』,門川町,1974、『門川町遺跡詳細分布調査報告書』,門川町教育委員会,1994



「地理院地図」(国土地理院 <https://maps.gsi.go.jp/>) をもとに宮崎県埋蔵文化財センターが作成

- | | | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|-------------|------------|
| 1 宮ヶ原遺跡 | 2 門川町古墳 1号 | 3 コモ田遺跡 | 4 米良四郎右衛門墓地 | 5 其田遺跡 | 6 アゼ地遺跡 |
| 7 南町遺跡 | 8 門川南町遺跡 | 9 土橋遺跡 | 10 花畑遺跡 | 11 城屋敷遺跡 | 12 落郷遺跡 |
| 13 新城 | 14 福寿寺跡 | 15 分蔵遺跡 | 16 平田遺跡 | 17 門川城 | 18 中山古墳 |
| 19 宮田遺跡 | 20 城山遺跡 | 21 森ノ前遺跡 | 22 深坪遺跡 | 23 門川町古墳 6号 | 24 竹名城 |
| 25 石塔群 | 26 江田城 | 27 枝遺跡 | 28 迫ノ前遺跡 | 29 松尾城 | 30 迫ノ前第2遺跡 |
| 31 加草遺跡 | 32 西迫遺跡 | 33 桜井第2遺跡 | 34 桜井第1遺跡 | 35 庵川窯跡 | 36 城畑遺跡 |
| 37 佐々宇津城 | 38 丸山遺跡 | | | | |

県内各地の出土遺物

宮崎県埋蔵文化財センターでは、これまで県内各地で発掘調査を行ってきました。本センターでは、これらの発掘調査で出土した土器や石器などの遺物、遺構の写真や図面といった遺跡の記録を保管・収蔵しています。

令和4年度は、これまでの調査と研究の成果を地域に還元し、先祖の記憶を未来への遺産としてつないでいくために門川町、日之影町、宮崎市の3ヶ所で移動展示会を開催することとなりました。

門川会場では、門川町と門川町教育委員会のご協力のもと、地元門川で出土した遺物に加えて、本センターが所蔵する県北地区を中心とした出土遺物の展示を行っています。ぜひ先人たちの営みに触れ、地域の歴史を感じてみてください。



剥片尖頭器 [旧石器]
矢野原遺跡 (延岡市)

細長く割った石の破片の片側の刃をつぶし、指を切らないよう加工しています。



縄文土器 [縄文晩期]
山田遺跡 (延岡市)

土器の底に、編んだ布の跡がくっきり残っています。

勾玉 [縄文後期]
学頭遺跡 (宮崎市)



新潟県糸魚川で採れたヒスイでつくられています。

● 関連講座 令和4年 8月7日 [日]

◆ ギャラリートーク (展示解説)

内容 / 展示解説

時間 / ①10:00-10:30 ②13:00-13:30

場所 / 門川町役場 町民ギャラリー

◆ 体験講座

内容 / 石器レプリカ作成・土器復元パズル・拓本体験

時間 / ①10:00-12:00 ②13:00-15:00

場所 / 門川町役場 町民ギャラリー

- ※ 事前申込不要・参加料無料
- ※ 時間内であればいつでも参加できます。
- ※ 感染症対策によりお待ちいただくことがあります。



須恵器 坏・朱玉 [古墳後期]
東ノ原1号地下式横穴墓 (国富町)

蓋付きの器で、中に赤色顔料を丸めた朱玉が2個入っています。

墨書土器 [古代]
中別府遺跡 (宮崎市)

土師器の坏の外面に墨で文字や記号が書いてあります。



石鍋 [中世]
八見遺跡 (宮崎市)

現在の長崎県近辺でつくられたものです。土壌墓からみつかりました。

土製聖人像 [中世]
塩見城跡 (日向市)

中央にベールを被った聖母マリアとみられる女性の顔がみられます。



水晶玉 [中世]
平田迫遺跡 (宮崎市)

中央に径0.2cmの孔があります。墓の中に納められていました。

● 日之影会場

会期 / 令和4年10月25日[火]~11月13日[日]

休館 / 会期中無休

場所 / 日之影町役場 町民ホール

関連講座 / 令和4年10月30日[日]

● 宮崎会場

会期 / 令和5年1月18日[水]~1月30日[月]

休館 / 令和5年1月24日[火]

場所 / 宮崎市立図書館 2階展示コーナー

関連講座 / 令和5年1月22日[日]



宮崎県埋蔵文化財センター

Miyazaki Prefecture Archaeological Center

お問合せ(分館:普及資料課)電話:0985-21-1600

